

日本体育大学大学院教育学研究科修士学位論文 評価基準

1. 審査体制

①修士論文の審査員の構成は、研究指導教員を主査とし、副査を2名以上、計3名以上とする。

②副査のうち一名は主査とは異なる教科の教員から選出するものとする。

2. 評価基準

獲得する資質・能力

論文の評価にあたっては、教育実践上の課題、あるいは現代的な教育課題を見いだし、その課題を学術的に追究していくことから、問題を見いだす能力や研究を論理的に展開する能力を育成することを目指す。

- ① 代表的な著書や論文、資料などから客観的に価値のある教育実践上の課題、あるいは現代的な教育課題を見出し、それを研究課題としているか。
- ② 代表的な著書や論文、資料などを妥当な視点から分析、検討しているか。
- ③ 研究目的に適切な資料やデータを収集し、信頼性や妥当性などの視点から適切に処理しているか
- ④ 結果や結論を導出する過程や導出した結果が設定した研究課題や目的と整合しているか。また、その導出過程の連関に妥当性があるか。
- ⑤ 結果や結論を導出する過程に客観性があるか。
- ⑥ 参考にした文献などが学術的な表記になっているか。